

令和5年度 教科年間計画

教科	数学	1 年	使用	【教科書】 最新数学 A（数研出版）
科目	数学 A	2 単位	教材	【副教材】 3ROUND 数学 I + A（数研出版）

科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけているか。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っているか。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度が養われているか。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度が養っている。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度が養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
場合の数	集合 集合の要素の個数	5	○	○		- 集合の考え方や個数についての考え方を習得しているか。(知) - 集合の考え方を活かし、それらを用いて発展的な問題の解決ができているか。(思)	小テスト
	樹形図、和の法則 積の法則 順列 円順列と重複順列 組合せ	6	○	○	○	- 様々な項目についての考え方を習得しているか。(知) - 各項目がどのような場面で活用するのかを判断し、表現できているか。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ学習
確率	確率の意味 確率の計算 確率の基本性質	5	○	○		- 確率の定義について理解し、演習ができているか。(知) - 様々な確率について、表現できているか。(思)	小テスト
	和事象の確率 余事象の確率 独立な試行の確率	5		○	○	- 様々な項目についての考え方を表現できているか。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ学習
	反復試行の確率	2		○		組合わせの考え方にに基づき、計算方法を習得できているか。(知)	小テスト
	条件付き確率	4	○	○	○	- 確率の定義について理解し、演習ができているか。(知) - 条件付き確率について、全事象と根元事象を適切に判断し、表現できているか。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ学習
考查または単元テスト		1	○	○			
平面図形	角の二等分線と比 三角形の外心、内心、重心	3	○		○	三角形の様々な性質を習得し、演習ができているか。(知)(思)(主)	小テスト グループ学習
	円周角の定理 円に内接する四角形	3	○	○	○	円と図形の関連に興味を持ち、問題解決へと向かっているか。(知)(思)(主)	小テスト グループ学習

単元名	学習内容	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
平 面 図 形	接線と弦の作る角	2	○	○		・接線と弦の作る角について、法則性を見出し、問題解決へ向かっているか。 (知)(思)	小テスト
	方べきの定理 2つの円	3	○	○	○	・方べきの定理を理解し、習得しているか(知) ・2つの円の関係性について考察し、表現できているか。(思) ・発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ 学習
空 間 図 形	空間における直線と平面 多面体	4	○	○		・空間における様々な図形の関係性を習得しているか(知) ・多面体を考察し、定理や法則について思考を深められているか。(思)	小テスト 発表
考查または単元テスト		1	○	○			
約 数 と 倍数	約数と倍数 倍数の判定法	4	○	○		・約数と倍数について理解を深め、問題を解くことができているか。(知) ・約数と倍数や判定法を活かして、様々な問題を考察し表現できているか。 (思)	小テスト
	素因数分解 最大公約数と最小公倍数	3		○	○	・素因数分解を理解し、様々な問題について考察できているか。(思) ・最大公約数や最小公倍数の知識を活かし、発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ 学習
	割り算における商と余り	3	○	○		・既習事項と絡めながら、割り算の関係性が理解できているか。(知) ・応用的な問題を考察し、表現できているか。(思)	小テスト
	余りによる整数の分類	3			○	・発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ 学習
考查または単元テスト		1	○	○			

単元名	学習内容	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法	2	○			・ユークリッドの互除法を理解し、最大公約数を求められるか。(知)	小テスト グループ 学習
1次不定方程式	1次不定方程式	4	○	○	○	・1次不定方程式を理解し、演習ができているか。(知) ・発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ 学習
整数の性質の活用	有理数の小数表現	3	○	○		・有理数の小数表現について理解できているか。(知)	小テスト
整数の性質の活用	n進法	2	○	○	○	・2進法について知識を習得し、理解出来ているか。(知) ・2進法の知識を活かし、n進法について考察し表現できているか。(思) ・発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ 学習
考查または単元テスト		1	○	○			
合計		70	14	18	9		

令和5年度 教科年間計画

教科	理科	1年	使用	【教科書】 東京書籍 新編 化学基礎
科目	化学基礎	3単位	教材	【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているか。	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
②思考力 判断力 表現力	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなどを科学的に探究できているか。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなどを科学的に探究している。	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなどを科学的に探究している。	基準に達していない
③主体的に 学習に取り 組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
化学とは何か	・化学とは何か	2	○	○	○	- 身のまわりの物や製品について、話し合いながらそれらはどんな物質でできているという視点で考えている。(主) - 物質の性質をもとに、分離の方法を考えることができる。(思) - 身の回りの多くの物質が、化学変化を利用していることを理解している。(知)	小テスト グループワーク
物質の成分と構成元素	1節 物質の成分	4	○	○		- 混合物から純物質を分離する方法を理解している。混合物に含まれる成分を、性質の違いによって分離する方法を理解している。(知) - 色素を分離する実験について、色素のどのような性質によって分離されたかを科学的に考察している。(思)	小テスト グループワーク
	2節 物質の構成元素	4	○	○	○	- 炎色反応や沈殿の生成で、元素の種類を確認できることを理解している。元素の同素体について、違いについて科学的に説明できる。(知) - 炎色反応の色から水溶液に含まれる元素を科学的に考察している。(思) - 炎色反応の実験を行い、元素の種類を推測するなど科学的に考察しようとしている。(主)	小テスト グループワーク 【実験】
	3節 物質の三態	4	○	○	○	- 状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解している。(知) - 実験の過程を観察し、状態変化に伴う変化を捉えようとしている。また、粒運動と物質の三態変化を探究し、これらの関係性を見いだして表現している。(思) - この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	小テスト グループワーク
原子の構造と元素の周期表	1節 原子の構造	2	○	○		- 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。(知) - 放射性同位体同位体について、話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)	小テスト グループワーク
	2節 電子配置と周期表	3	○	○	○	- 代表的な典型元素の電子配置について理解している。元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族と周期部の関係について理解している。(知) - アルカリ金属の性質を観察し、同族元素について性質を見通し、関係性を表現している。元素の周期律について規則性を見いだして表現している。元素の性質について考察する。(思) - この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	小テスト グループワーク
前期中間考査		1					

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
化学結合	1節 イオンとイオン結合	5	○	○	○	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解している。イオン結合およびイオン結晶の性質を理解している。(知) ・元素の周期律とイオン化エネルギーの関係性を見だし表現できる。(思) ・イオン結晶についての実験を行い、イオン結晶やイオンの性質について考察しようとしている。(主)	小テスト グループワーク
	2節 分子と共有結合	6	○	○		・共有結合を電子配置と関連付けて理解している。分子からなる物質の性質を理解している。(知) ・物質の極性と溶解性の関係性を予想し、実験を通じて関係性を見だし表現できる。(思)	小テスト グループワーク
	3節 金属と金属結合	2	○			・金属の性質及び金属結合を理解している。(知) ・金属とその用途について、話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)	
	4節 化学結合と物質の分類	3		○	○	・化学結合と物質の分類について、話し合いながら規則性や関係性を解釈して表現しようという視点で考えようとしている。(思) ・この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	小テスト グループワーク
前期期末考査		1					
物質 量と化学 反応式	1節 原子量・分子量・式量	4	○			・相対質量と原子量を理解している。(知)	小テスト
	2節 物質量	4	○	○		・物質量と粒子、質量、気体の体積の関係について理解している。(知) ・物質量と粒子、質量、気体の体積について、話し合いながら見通しをもって観察し、得られた結果を分析している。(思)	小テスト グループワーク 【実験】
	3節 溶液の濃度	4	○	○		・モル濃度について理解している。(知) ・水溶液の調整について、話し合いながら確認し、観察し、得られた結果を分析している。(思)	小テスト グループワーク
	4節 化学反応の表し方	3	○			・化学反応式やイオン反応式について理解している。(知)	小テスト
	5節 化学反応式の表す量的関係	3	○	○	○	・化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見だして理解している。(知) ・化学反応における量的関係についての実験を行い、化学反応式の係数が物質量の比を表していることを見出そうとしている。(主) ・実験から、物質量の比が化学反応式の比を表していることを見だしている。(思) ・この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	小テスト グループワーク
酸と塩基	1節 酸と塩基	5	○	○		・酸と塩基の性質及び定義を理解する。(知) ・酸と塩基の強弱と電離度の関係性を予想し、実験を通じ関係性を見だし表現できる。(思)	小テスト グループワーク
	2節 水素イオン濃度とpH	5	○	○		・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度やpHで表せることを理解している。(知)	小テスト グループワーク

					・pH 指示薬について理解している。(知) ・身近な物質の pH を測定し、話し合いながら様々な比較を加えて考えようとしている。(思)	ーク 【実験】
	3節 中和反応と塩の生成	5	○	○	・酸と塩基が完全に中和するときの化学反応式及び塩の水溶液について理解している。(知) ・身近のまわりの物質の pH を測定し、様々な比較を加えて考えようとしている。(思)	小テスト グループワーク
	4節 中和反応	6	○	○	○ ・酸と塩基の中和反応に関与する物質の量的関係について理解している。(知) ・中和滴定操作における基本的な技術を習得するとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。(思) ・中和滴定の実験を行い、食酢の濃度を正確に調べるために、正しく器具を使い、科学的に考察をしようとしている。(主) ・この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	小テスト グループワーク 【実験】
	後期中間考査	1				

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
酸化還元反応	1節 酸化と還元	5	○	○		・酸化と還元が電子の授受によることを理解している。(知) ・酸化と還元の定義について、話し合いながら確認し、酸化数の増減について見いだす活動を行っている。(思)	小テスト グループワーク
	2節 酸化剤と還元剤	5	○	○	○	・酸化還元反応式の反応式を理解する。(知) ・酸化還元滴定操作における基本的な技術を習得するとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。(思) ・酸化剤と還元剤の反応を調べる実験を行い、それぞれの結果を化学反応式で表すなど、科学的に考察を行おうとしている。(主)	小テスト グループワーク 【実験】
	3節 金属の酸化還元反応	5	○	○		・金属のイオン化傾向を理解している。(知) ・金属の陽イオンへのなりやすさを比較測定し、話し合いながら科学的に考察する。(思)	小テスト グループワーク
	4節 酸化還元反応の応用	5	○	○		・電池の構造やしくみ及び金属の製錬について理解している。(知) ・電池について構造とその用途について、話し合いながら身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思) ・この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	小テスト グループワーク
化学が拓く世界	終章 化学が拓く世界	7	○	○	○	・学んできた事が日常生活や科学技術と結びついていることを理解する。(知) ・日常生活や社会を支えている科学技術について、話し合い、その用途や社会課題に対する解決策などを様々な視点で考察している。(思)	小テスト グループワーク
	学年末考査	1					
	時数合計	105					

令和5年度 教科年間計画

教科	保健体育	1年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	体育	3単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】 授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

月	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
4	体づくり運動 (体ほぐしの運動) (体力を高める運動) 体育理論①	8				○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主) ○新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身に付けられたか。(思) ○スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)	
		1	○	○	○		
5	器械運動 (マット・跳び箱)運動 ダンス	10	○		○	○技(前転、開脚前転、伸脚前転、後転、開脚後転、伸脚後転、倒立など)をしっかりと身に付け、それらの技能を高めることができたか。(知) ○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)	
6		12	○	○		○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、刻々の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知) ○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思)	

7	陸上競技 (走り幅跳び、ハードル、走り高跳び)	9	○		○	○必要な個人技術を高めることができたか。(知) ○自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。(主)	
8	球技 (バレーボール)	6	○	○		・個人技術 (サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロック等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(思・主)	
9	ソフトボール	11	○	○		・個人技術 (キャッチボール、バッティング等) の能力をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・ソフトボールのルールを理解した上で、身につけた技能を活用し、状況に応じたゲームができるように工夫することができたか。(思)	
	前期末考査	1					
10	体育理論②	1	○			・スポーツの技術、戦術、ルールの変化、スポーツの技術、戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わること理解できたか。(知)	
11	武道 (柔道)	12	○	○		・基本動作 (姿勢と組み方、進退動作、崩しと体さばき、受け身など) や投げ技 (膝車、体落とし、大腰、内股、大外刈りなど) 固め技 (袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど) を身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自分の特性を踏まえた上で、相手の安全を第一に考えながら約束練習ができるようになったか。(主)	
	体育理論③	1	○			・オリンピックムーブメントとドーピング オリンピックムーブメントによる国際親善や世界平和への役割を理解することや、ドーピングによるスポーツの文化的価値の喪失について理解することができたか。(知)	
12	球技 (バスケットボール)	10	○		○	・個人技術 (パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。また集団技術 (速攻、マンツーマンディフェンス) をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
1	軽スポーツ (バドミントン)	12	○		○	・個人技術 (ハイクリア、ドロップ・スマッシュ・ヘアピン等) 等の技術をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、ペアにおける自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
	体育理論④	1	○			・スポーツの経済的効果とスポーツ産業 現代のスポーツにおける経済的な波及効果やスポーツ産業について理解を深めることができたか。(思)	
	後期末考査	1					
2							
3	バレーボールリーグ戦	9		○	○	○身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。(思・主)	
	時数合計	105					

令和5年度 教科年間計画

教科	保健体育	1年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	保健	1単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるか。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、おおむね技能を身に付ける。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っているか。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っているか。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代社会 と健康	1 健康の考え方と成り立ち	2	○			現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	単元テスト 及び 学習ノート
	2 私たちの健康のすがた	1	○		○		
	3 生活習慣病の予防と回復	1	○				
	4 がんの原因と予防	1	○			(7) 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりに関わることが理解できる。	
	5 がんの治療と回復	2	○				
	6 運動と健康	1	○				
	7 食事と健康	1	○		○	(4) 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。	

	8 休養・睡眠と健康	1	○			その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要であることが理解できる。	
	9 喫煙と健康	1		○		(ウ) 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることが理解できる。	
	10 飲酒と健康	2		○			
	11 薬物乱用と健康	1		○			
	12 精神疾患の特徴	1	○			(エ) 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っていないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることが理解できる。	
	13 精神疾患の予防	2	○				
	前期期末考査	1					
	14 精神疾患からの回復	1	○			(オ) 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることが理解できる。	
	15 現代の感染症	1	○				
	16 感染症の予防	1	○				
	17 性感染症・エイズとその予防	2	○	○			
	18 健康に関する意思決定・行動選択	1	○				
	19 健康に関する環境づくり	1	○				
安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	1	○			安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。	単元テスト及び学習ノート
	2 安全な社会の形成	2	○				
	3 交通における安全	1	○			(7) 環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動や自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備に関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることが理解できる。	
	4 応急手当の意義とその基本	2		○	○		
	5 日常的な応急手当	1			○		
	6 心肺蘇生法	2			○		
						(イ) 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることが理解できる。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。	
	学年末考査	1					
	時数合計	35					

令和5年度 教科年間計画

教科	芸術	1年	使用	【教科書】 Tutti+ 音楽Ⅰ
科目	音楽Ⅰ	2単位	教材	【副教材】 高校生のための音楽研究ノート

科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解できている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるか。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができるか。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度が養われている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
クラスの歌 声を響かせ よう	【歌唱】 ○校歌 ○優しいあの子 ○少年時代 ○小さな空 など ◆Review of Basics ①楽譜は音楽を伝えるメッセージ ◆声という大切な楽器 ◆Review of Basics ②音とは何だろう?	6	○	○	○	・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。(知) ・姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・校歌や親しみやすいJ-POPの歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図を持っている。(思) ・校歌や J-POP の歌の二重唱や二部合唱、自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況 の観察 ワークシ ート 演奏の聴 取
日本歌曲を 歌おう	【歌唱】 ○夏の思い出(既習) ◆Review of Basics ③音の高さを表す 5 本の線	2	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知) ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。(思) ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況 の観察 ワークシ ート
イタリアの 歌曲や民謡 を歌おう	【歌唱】 ○オーソレミオ ○カーロミオベン	3	○	○	○	・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。(知)	学習状況 の観察 ワークシ

	○サンタルチア ◆Review of Basics ④音の長さを表そう ◆Review of Basics ⑤音の強さを表そう					・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表 している。(技) ・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚 し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気 を感受しながら、知覚したことと感受した こととの関わりについて考え、自己のイメ ージをもってどのように歌うかについて 思いや意図をもっている。(思) ・イタリア語の言葉の特性や曲にふさわ しい発声で表情豊かに歌うことに関心を もち、音楽活動を楽しみながら主体的・協 働的に歌唱の学習活動に取り組もうとし ている。(主)	ト 演奏の聴 取
アンサン ブルを楽し もう① ーリズムア ンサンブル ー	【器楽】 ロクランピングカル テット第1番 (作曲：長谷部匡俊)	7	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴 について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするた めに必要な他者との調和を意識して演奏 する技能や、表現形態の特徴を生かして演 奏する技能を身に付け、器楽で表してい る。(技) ・リズム及びテクスチャを知覚し、それ らの働きを感受しながら、知覚したことと 感受したこととの関わりについて考え、ど のように演奏するかについて表現意図を もっている。(思) ・リズムアンサンブルを構成する声部の 関わりの変化と曲想の変化との関わり に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学 習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況 の観察 ワークシ ート 演奏の聴 取
クラシック ギターの演 奏を楽し もう①	【器楽】 ◆Start Up!Playing the Guitar ○Let it be ○翼をください(弾き 語り)	7	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴 について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするた めに必要な曲にふさわしい奏法、身体 の使い方などの技能を身に付け、器楽で表 している。(技) ・音色、リズム及びテクスチャを知覚 し、それらの働きを感受しながら、知覚 したことと感受したこととの関わりにつ いて考え、どのように演奏するかにつ いて表現意図をもっている。(思) ・曲想とギターの音色や奏法との関わり	学習状況 の観察 ワークシ ート 演奏の聴 取

						に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
混声合唱を美しく響かせよう①	【歌唱】 ○学校祭の全校合唱曲	8	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知) ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。(思) ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 演奏の聴取
前期期末考査		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
クラシックギターの演奏を楽しもう②	【器楽】 □カノンによるギター・エチュード □茶色の小びん ◆Review of Basics ⑥♯♭の役割 ◆Review of Basics ⑦拍子とは何だろう？	6	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、リズム及びテクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。(思) ・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
音楽をつくらう	【創作】 ◇音のスケッチ⑤循環コードで音楽をつくらう ◆Review of Basics ⑧わかると便利コードネーム	7	○	○	○	・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。(知) ・音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、作曲や編曲をする技能を身に付け、創作で表している。(技)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

	◆コンピュータを活用しよう					・リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(思) ・音楽をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
アンサンブルを楽しもう② ートーンチャイム	【器楽】 ☐ 大きな古時計 ☐ Jupiter	6	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な他者との調和を意識して演奏する技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・リズム及びテクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。(思) ・リズムアンサンブルを構成する声部の関わりの変化と曲想の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
箏を弾こう	【器楽】 ☐ さくらさくら ☐ 日本わらべうた ◆音楽史と史実	6	○	○	○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、わが国や郷土の電灯音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。(知) ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

						き、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(思) ・和楽器の表現活動を通して日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取ることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
コンサート を聴こう	【鑑賞】 ◎3 年生の卒業コンサート	1		○	○	・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。(思) ・音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅰの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)	ワークシート
混声合唱を 美しく響かせよう②	【歌唱】 ○卒業式の在校生合唱曲	8	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知) ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。(思) ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況 の観察 演奏の聴取
学年末考査		1	○	○			
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

教科	外国語	1年		【教科書】 All Aboard! English Communication I (東京書籍)
科目	英語コミュニケーションⅠ	4単位	使用教材	【副教材】 ・ All Aboard! English Communication I ワークブック (東京書籍) ・ データベース 4500 完成英単語・熟語 [5th Edition] (桐原書店) ・ Focus on Listening Basic CD 無 (エミル出版)

科目の目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(高等学校学習指導要領 (平成 30 年 3 月告示) より)

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。	話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。	話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。	「B」を満たしていない。
②思考力 判断力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。	題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。	題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。	「B」を満たしていない。
③主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。	話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。	「B」を満たしていない。

年間授業計画 (計 140 時間)

月	◎題材 ●主な教材	配 当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・英語コミュニケーションⅠの学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、英語コミュニケーションⅠの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価 (振り返りのシートなどの記述内容)
	○自己紹介 ●Communication 1	3	【発表/聞く】 ・自分のことについて話す活動	・一連の簡単な語句や文を使って自己紹介ができる	
	○私の朝ごはん ●Lesson 1	12	【やり取り/聞く】 ・過去形	・好きな食べ物について聞いて、内容を理解することができる。	
	○人なつっこい野生動物 ●Lesson 2	12	【やり取り/読む】 ・進行形: (be 動詞 + 動詞の-ing 形)	・基本的な語や言い回しを使って、好きな動物について、簡単に意見交換をすることができる。	
	前期中間考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8 / 9	○笑顔を運ぶ列車 ●Lesson 3	9	【書く/読む】 ・助動詞: can, will	・接続詞 and を用いて、場所への行き方とそこでできることについて書くことができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価 (振り返りのシートなどの記述内容)
	○道案内 ●Communication 2	1	【やり取り/聞く】 ・地図を用いた道案内	・基本的な語や言い回しを使って道案内ができる。	
	○デートの約束 ●Let's Listen 1	1	【聞く】 ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	・友達をサッカーの試合観戦に誘う場面における対話を聞き、概要を理解し、メモを完成することができる。	
	○夢のような絶景 ●Lesson 4	11	【発表/読む】 ・to 不定詞: (to + 動詞の原形)	・行ってみたい場所について、簡単な語や基礎的な句を用いて発表することができる。	
	○人物当てクイズ ●Extra Target 1	1	【やり取り/聞く】 ・接続詞	・「接続詞」を活用して、人物のプロフィールを的確に伝えることができる。	
	○長浜高校水族館部 ●Lesson 5	9	【書く/聞く】 ・動名詞: (動詞の-ing 形)	・将来の夢について、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	
	前期期末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
10 / 11	○フリーマーケットで買い物 ●Let's Listen 2	1	【聞く】 ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	・フリーマーケットでの買い物についての話を聞き、概要を理解することができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価 (振り返りのシートなどの記述内容)
	○～が…するのを見た ●Extra Target 2	1	【やり取り/聞く】 ・知覚動詞	・「知覚動詞」を活用して、最近見たり聞いたりしたことについて表現する。	
	○奇想天外な浮世絵師 ●Lesson 6	12	【書く・読む】 ・受け身: (be 動詞 + 過去分詞)	・関心のある絵について、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	
	○アンネ・フランク ●Lesson 7	12	【発表・聞く】 ・比較表現: (-er) (the -est) (as + 原級 + as)	・前もって関心のある人物について発話することを意識した上で、複数の文で発表をすることができる。	
	後期中間考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	

月	○題材 ●主な教材	配 当 (時)	【学習領域】 主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
12 ／ 1 ／ 2	○ロボットカフェ ●Lesson 8	11	【発表・聞く】 ・現在完了形: 〈have[has]+過去分 詞〉	・人の生活を豊かにするロボットに ついて聞いて、情報や考えなどを理 解したり、概要を捉えることができ る。	①ペーパーテスト等の結 果 ②パフォーマンステスト 及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りの シートなどの記述内容）
	○乗り換え案内 ●Communication 3	1	【やり取り/聞く】 ・路線図を用いた乗り換 え案内	・電車の乗り換え案内の場面におい てよく使われる表現を用いて、英語 で尋ねたり案内することができる。	
	○海の豊かさを守る ●Lesson 9	11	【やり取り/読む】 ・名詞を後ろから説明す る分詞	・環境を守るためにできることにつ いて、基本的な語や言い回しを使っ て簡単に意見交換をすることができる。	
	○海の向こうからの贈り物 ●Lesson 10	11	【やり取り/聞く】 ・関係代名詞：who, which	・海外の文化や社会に対する理解を 深める活動について聞いて、内容を 理解することができる。	
	学年末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
3	○ Short Stories in English ●Reading 1	8	【読む】 ・ショートストーリーを 読む活動。	・登場人物の気持ちを考えながら読 むことができる。	①ペーパーテスト等の結 果 ②パフォーマンステスト 及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りの シートなどの記述内容）
	○ The Wizard of Oz ●Reading 2	8	【読む】 ・The Wizard of Oz を 読む活動。	・主人公のドロシーを中心に、登場 人物の気持ちを考えながら読むこと ができる。	

令和5年度 教科年間計画

教科	情報	1年	使用 教材	【教科書】 図説情報Ⅰ（実教出版）
科目	情報Ⅰ	2単位		【副教材】 図説情報Ⅰ学習ノート（実教出版） 実技で学ぶ情報モラル（日本情報処理検定協会） 文書デザイン検定試験 模擬問題集 2級編 （日本情報処理検定協会）

科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、関連する技能を説明できる程度に確実に身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	「B」の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ工夫して考え、判断し、効果的に表現している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	「B」の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自己の学習を振り返り、修正点や新たな気づきを提示し、学習の自己調整をしようとしているなど、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	「B」の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価 の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
オリエンテーション	オリエンテーション	1				・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・自己紹介などの文章を作成し、保存する実習を行うことで、必要な操作を習得する。 ・コンピュータ教室でのマナーを理解する。	
情報社会と私たち	今までの情報技術とこれからの情報技術	3	○	○	○	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができる。 ・情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。 ・情報社会における様々な問題点を理解した上で、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとしている。	小テスト
情報社会と問題解決	問題解決	3	○	○	○	・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。	小テスト グループワーク
	情報社会における法規と制度	4	○	○		・個人情報やプライバシーの概念を理解し、個人情報の保護や管理について理解している。 ・著作権法の権利制限規定の意義について考え、討議することができる。	小テスト
	情報セキュリティと個人が行う対策	3	○	○	○	・個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。 ・具体的な例について、その認証方法のメリットとデメリットについて説明できる。 ・大切な情報を守るための認証の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。	小テスト

コミュニケーションと情報デザイン	メディア	1	○	○	○	・メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。 ・収集した情報を、別のメディアと比較するなどし、正しい情報かどうかを判断することができる。 ・メディアから提供された情報を主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。	小テスト
	コミュニケーション	2	○	○		・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。	小テスト
	情報デザインと表現の工夫	2	○	○		・情報をわかりやすく伝達するために、文字、色や配色、図やイラストなどの基本的な表現方法を理解している。 ・情報伝達の目的や対象を考え、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。	小テスト
	コンテンツの制作	5	○	○	○	・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察することができる。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善しようとしている。	小テスト グループワーク
情報とコンピュータ	情報の表し方	3	○	○		・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 ・アナログデータとデジタルデータの比較し、その違いについて説明することができる。	小テスト
	コンピュータでのデジタル表現	7	○	○		・コンピュータ内部の数値表現方法である 2 進数から、10 進数や 16 進数へ相互に変換する方法を理解している。 ・音やデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。 ・画像のデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。 ・動画の表現方法とデータの圧縮方法について理解している。 ・2 進数、10 進数、16 進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる。	小テスト

					・アナログの音をデジタル化する場合の、標本周期や標本周波数について、音質とデータ量の大きさを関連付けて説明することができる。 ・画像の解像度や諧調を用いて、画像の鮮明さについて説明することができる。 ・音声、画像、動画の主なファイルについて、データ圧縮との関連も含めて、その特徴や内容を説明することができる。	
	情報機器とコンピュータ	2	○		○ ・ハードウェア、それを動かすソフトウェア、さらに、OS とアプリケーションソフトウェアの関係を理解している。 ・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組んでいる。	小テスト
アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムと基本構造	3	○	○	○ ・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明することができる。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え、繰り返し取り組んでいる。	小テスト
	プログラムの基礎	4	○	○	○ ・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。 ・作成したプログラムが正しいかどうかを考察し、修正することができる。 ・プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。	小テスト
	プログラムの応用	5	○	○	○ ・探索や並べ替えのアルゴリズムの概念を理解している。 ・探索（線形探索、二分探索）のアルゴリズムの効率について、考えることができる。 ・問題解決のためにアルゴリズムを考え、効率的なプログラムを粘り強く作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組んでいる。	小テスト
モデル化とデータの活用	モデル化	2	○	○	○ ・図的モデルのさまざまな表現方法（ブロック線図、状態遷移図、アクティビティ図）について理解している。 ・簡単な自動販売機の動作をモデル化し、状態遷移図で表現することができる。 ・身のまわりものから図的モデルを作成する	小テスト

					学習などに積極的に取り組み、自己評価および相互評価を行い、モデルを改善しようとしている。		
	シミュレーション	4	○	○	○	・簡単な確率的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。 ・確率的モデルについて、表計算ソフトウェアの乱数を用いてシミュレーションを行い、その結果から考察することができる。 ・表計算ソフトウェアやプログラミング言語を利用した確率的モデルのシミュレーション実習において、意欲的に粘り強く取り組んでいる。	小テスト
	データの活用	4	○	○	○	・表計算ソフトウェアを利用して、散布図や箱ひげ図を作成することができる。 ・身近な数値データの散布図から相関係数を求めて、データの関連性について考察することができる。 ・分散や標準偏差をはじめ統計的な用語の概念について、具体的な数値データをもとに理解しようとしている。	小テスト
ネットワークと情報システム	ネットワークの仕組み	4	○	○		・インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している ・インターネットのプロトコル(TCP/IP)について、各階層の役割について、電話などの例をあげて説明することができる。	小テスト
	情報システムとサービス	5	○	○		・身のまわりの情報システムの例やサービスの概要を理解している。 ・インターネットで活用できる情報システムの例をあげて、提供する情報と受けたサービスについて考察することができる。	小テスト
	情報セキュリティ	3	○	○	○	・情報の安全を守るための情報セキュリティの意味と重要性を理解している。 ・情報セキュリティの3要素(機密性、安全性、可用性)とそれぞれの脅威や対策について説明することができる。	小テスト
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

総合的な探究の時間	1年	使用 教材	【教科書】なし
	1単位		【副教材】なし

科目の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。
--

【評価の観点】

	評価の観点	
	進路探究	地域探究（おうむ学）
知識・技能	上級学校訪問や外部講師の講演活用を通して、自己や進路についての課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけることができる。	地域のインタビューやインターンシップを通して、地域や社会の課題の発見や解決に必要な知識・技能を身につけることができる。
思考力 判断力 表現力	自分の進路や興味・関心と結びつけながら、自己の課題を明らかにすることができる。自らの主張や意見が伝わるように、論理的な章立てで表現することができる。	地域の課題やその解決法についての必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集することができる。相手や目的、意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に活かすことができる。
主体的に 学習に取り組 む態度	自ら課題に向き合い、自他の良さを認めながら、主体的・協働的に課題を解決することができる。	自ら課題に向き合い、自他の良さを認めながら、主体的・協働的に課題を解決することができる。

【計画】

単元 名	学習内容	時数	評価の観点			学習のねらい	評価方法
			知	思	主		
進路探究	① 進路活動に関するガイダンス	17	○			・資料やインターネット、上級学校訪問から、大学・専門学校・就職について調べ、自己に必要な情報を収集し、進路意識を高める。 ・各種ガイダンスを通して、進路に向けての情報収集を行い、進路意識を高める。	・各種プリントの内容
	② 進路相談会		○				
	③ 各種進路ガイダンス		○				
	④ 上級学校訪問			○	○		
	⑤ CPSV 講話			○	○		
	⑥ 先輩と語る会		○		○		
地域探究 おうむ学	① マッピングやマンダラートによる情報の分析・整理	18		○	○	・雄武町内でのインタビューやインターンシップを通じて仕事を体験して、雄武を支えている人・モノを知る。 ・依頼文の作成や電話の掛け方などの一般的なマナーを身につける。 ・発表をする場を設けて、プレゼン能力を養う。	・総合探究ファイル ・発表 ・振り返りシート
	② 企業への依頼文作成、電話のかけ方を学ぶ		○	○			
	③ 町民インタビューの実施、雄武町仕事図鑑作成			○	○		
	④ インターンシップ実施、まとめ			○	○		
	合計	35					